



大津市議会議員

か がん に 挑 戦 わ か さ と 誠 意 と 情 熱 で い の ち 輝 く ま ち づ くり

かわい昭成 News Report

次の世代のために! 地方から変える!! 2013年2月20日発行 第3号

後援会資料 かわい昭成後援会 会報 発行:かわい昭成後援会 事務局 E-mail: otayori@a-kawai.net URL: http://www.a-kawai.net/

ごあいさつ

日頃は私の活動に対し温かいご支援を賜りましてありがとうございます。昨年末の衆議院議員選挙の結果を受け、国政では、政権が交代し、様々な政策が打ち出され、特に公共事業投資への予算配分の大幅な増加が話題となります。必要な公共事業の積み上げで計算されたものであればよいのですが、まずは予算額ありきという感じがいなめません。これらの予算は地方行政でも使わせていただくことになります。地方議会においても、将来にわたって本当に必要な公共事業投資なのか、その効果として社会福祉の向上につながっていくのか、しっかりと精査することが大切であると思えます。

この一年も、大変厳しい状況ではありますが、明るく前向きに、私たち生活者の声を、市政・県政・国政へと届けるために、コツコツと地道に取り組んでまいります。これからも皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

大津市議会議員 河井 昭成



活動報告



川ばた達夫前衆議院議員や仲間の皆さんと石山駅で朝の駅頭活動。見かけたらお声掛けください!



年初恒例の川ばた達夫前衆議院議員の年賀会が開催されました。今年も大変多くの方にお集まりいただきました。私は司会を担当しました。参加いただいた皆様ありがとうございました。

ミニ集会や駅頭活動を行っています!

川ばた達夫前衆議院議員、とくなが久志参議院議員、柴田ちえみ県議会議員と私で、11月の末に富士見と国分の2会場においてミニ集会を開催しました。民主党政権の3年余りで、出来たこと出来なかったことを振り返り、それを元に「明日をどのような社会を目指すのか」について、意見交換をしながら、お話しする時間をいただきました。



3 かわいの目指す 3つの視点 人とまちの魅力を引き出すことが市政の役割!!



人を活かす視点

- ・子供が健やかに育ち、育てられる環境があるまち
- ・雇用が約束され、働く人が安心して暮らせるまち
- ・情報公開と市民参加による市民のためのまち



地域を活かす視点

- ・地域自治の推進と行政の支援による活力あるまちづくり
- ・将来を見据え、目的を持った美しいまちづくり
- ・医療・介護など福祉施策が整うまちづくり



自然・文化を活かす視点

- ・びわ湖と生き物すべてのための自然を守る取り組み
- ・湖都大津の誇る文化遺産を守り、伝える取り組み
- ・豊かな自然と歴史を活かした観光振興への取り組み

プロフィール

かわい あきなり
河井 昭成

生年月日: 1973年7月22日
趣味: 読書、バレーボール
好きな言葉: 千里の道も一歩から

略歴

- 1997年3月 早稲田大学 理工学部機械工学科 卒業
- 1999年3月 早稲田大学大学院 理工学研究科 修了
- 1999年4月 東し株式会社 入社
- 2011年4月 大津市議会議員 1期目

現在

- 民主党滋賀県連 幹事
- 民主党滋賀県第一区 副幹事長
- 大津市消防団晴嵐分団 団員

所属党派

- 大津市議会会派市民ネット 21
- 議 会 総務常任委員会 委員
- 防災対策特別委員会 委員

12月定例会 一般質問

「どう使う」+「どう作る」 エネルギー政策について

Q. 大津市の新エネルギー導入について現状の認識と今後の展望は？

A. (市長) 東日本大震災を契機とし、新エネルギーへの関心は急速に高まっています。本市としてもエネルギーの安定供給を前提とした、市民が安全に暮らすことができる環境の確保が重要であると認識しており、新エネルギー導入を促進すべきと考えています。

現状は、利用の普遍性やエネルギーの利用可能量、機器の価格、技術レベル、市民の関心、国の普及施策などの点から、「太陽光発電システム」を中心に普及促進を図っており、平成21年度より設置に対し補助金を交付し、導入拡大に努めています。

今後は、太陽光発電の普及を引き続き推進するとともに、本市では利用可能量が高いという試算結果が得られている水力エネルギーを使う小水力発電などの新エネルギーや分散化電源についても、コストや技術レベルなどで利用の可能性がより現実的になったものについて、普及に向けて具体的な検討を進めたいと考えています。

Q. 新エネルギーの導入や今後想定されるエネルギーの地産地消などの政策や事業を、今以上に評価や判断をしっかりと行い、広い視点で総合的に取り組むため、エネルギー政策専門のスタッフや部署が必要と思いますが、これらを含め、今後のエネルギー政策に関する課題への向き合い方について見解は？

A. (政策調整部長) エネルギーの利用については、環境適合性だけではなく、安定供給性、経済成長、地域社会への貢献など、

多角的な視点で判断するべきであると認識しており、現状、政策調整部をはじめ環境部や産業観光部など関係部局が連携しながら、対応をしています。専門スタッフや専門部署については、限られた人員や予算の中、新たに設置することは難しく、まずは関係部局による連絡調整会議などで連携の強化を図り、エネルギー政策に関する課題に対応していきたいと考えています。

Q. エネルギーに関する政策や事業を推進するに当たり、企業、教育・研究機関と連携することで相乗効果があると期待されますが、大津市の現状と今後の取り組みは？

A. (政策調整部長) 現時点で新エネルギーについての産学官連携による具体的な取り組みはありませんが、今後、エネルギーの自給自足型システムに寄与する技術開発に取り組む企業に対して、産学官が連携して支援していきたいと考えています。

Q. エネルギー分野に強い人材の育成についての考えは？

A. (政策調整部長) エネルギー政策事業に関わる職員は、滋賀県にて開催されている再生可能エネルギーに係る市町研究会や各種研修会等に参加し、県、市、町の担当者が情報交換や意見交換を行うなどで能力の向上を図っています。エネルギー政策に関心が高まる中、今後は実践的なセミナーや講座等に積極的に参加することで、さらなる人材育成に努めたいと考えています。

耐震、次のステップへ 教育施設の安全対策について

Q. 大津市内の公立小・中学校施設の非構造部材の耐震対策について、耐震対策の取り組みの方針と計画は？

A. (教育長) 体育館や校舎など建物本体の耐震化については一定のめどがたったことから、今後は、天井材や照明器具などの非構造部材、設備の耐震化を図ることが重要と認識しています。国の方針も踏まえ、来年度から2年間で全小中学校施設の点検を行い、改修に取り組みたいと考えています。

※大津市の小・中学校施設の耐震化

大津市の小中学校の建物の耐震化工事は、大規模改修と同時に実施する小学校1校の工事を残す以外は、完了もしくは実行中となっています。また、幼稚園、保育園の建物の耐震化も計画的に進められています。

※公共施設の非構造部材の耐震化

公共施設における天井材や照明器具などの非構造部材の耐震化について、大津市としては、建物の耐震化をまずは優先するという方向性が議会において示されていました。



琵琶湖を活かす政策について スポーツの振興とあわせて



Q. ビーチバレーボールやビーチサッカーなどスポーツの常設コートを整備し、琵琶湖の砂浜の活用を図ることについて見解は？

A. (都市計画部長) サンシャインビーチのような砂浜を持つ都市公園は、ビーチバレーボール、グランドゴルフ、ペロンやマラソンの大会、地域の祭りなどさまざまなイベントが開催され、市民の屋外におけるレクリエーションの場として活用されています。また、災害時の避難地などの役割もあり、多目的に利用できるオープンスペースを確保する必要があります。このことから、現段階では常設コートの整備ではなく、器具の貸し出しや手続きの円滑化など、利用の利便性向上について研究していきたいと考えています。

Q. 砂浜で行うスポーツの大会を誘致、開催すると、大津市内外から多くの人が集まると考えます。砂浜で行うスポーツ大会やイベントの誘致、開催に関して見解は？



A. (教育長) 砂浜で行うイベントに関しては、これまでから学区対抗ビーチバレーボール大会や琵琶湖ペロン大会などの開催に支援を行っており、多くの市民参加や、市外からの来訪者でにぎわっています。今後も引き続き開催できるよう支援したいと考えています。また、新たな大会等の開催については、ニーズを踏まえ、競技団体や関係団体と連携する中で開催支援について検討していきます。

人とまちの魅力を引き出すことが市政の役割!!

皆さんの **ご意見、ご要望** などお聞かせください。

後援会へのご入会については、
「かわい昭成後援会事務所」までご連絡ください。

かわい昭成後援会事務所

所在地：大津市園山 1-1-1 東レ労働組合滋賀支部内
TEL：077-537-2137 FAX：077-734-8538

